

9

日本の農業② —稲作

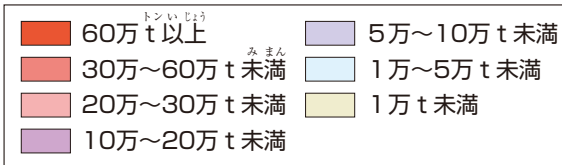
日本の農業は古くから稲作が中心です。全国各地でさまざまな種類の米がつくられています。

減少する作付面積

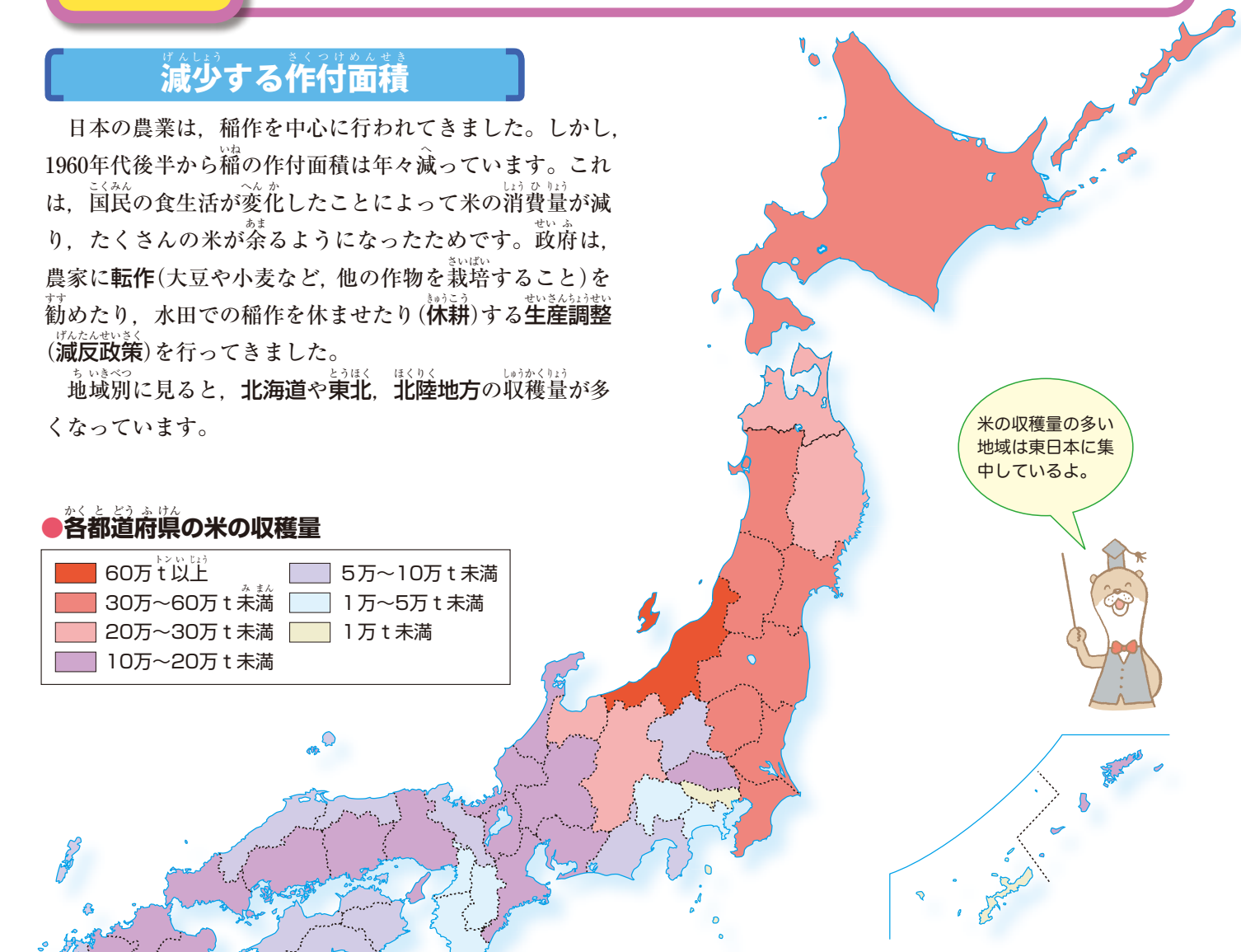
日本の農業は、稲作を中心に行われてきました。しかし、1960年代後半から稲の作付面積は年々減っています。これは、国民の食生活が変化したことによって米の消費量が減り、たくさんの米が余るようになったためです。政府は、農家に転作(大豆や小麦など、他の作物を栽培すること)を勧めたり、水田での稲作を休ませたり(休耕)する生産調整(減反政策)を行ってきました。

地域別に見ると、北海道や東北、北陸地方の収穫量が多くなっています。

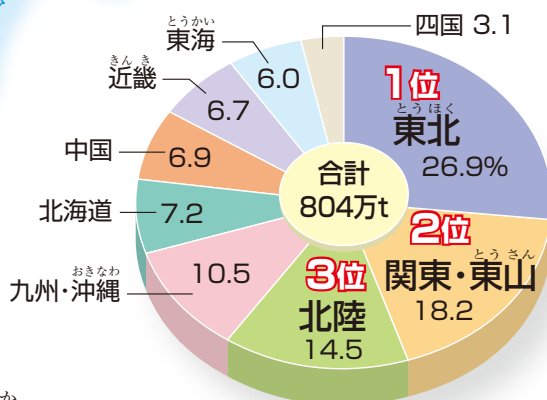
各都道府県の米の収穫量



米の収穫量の多い地域は東日本に集中しているよ。



データ 地域別収穫量



データ 米の収穫量 トップ10

順位	都道府県	収穫量 (t)	全国に占める割合 (%)
1	新潟	67万8600	8.4
2	北海道	57万8600	7.2
3	秋田	51万5400	6.4
4	山形	39万5200	4.9
5	宮城	36万9000	4.6
6	茨城	36万2500	4.5
7	福島	35万6300	4.4
8	栃木	31万6900	3.9
9	千葉	30万5900	3.8
10	岩手	27万1600	3.4

(2016年)「作物統計」ほか

※東山…山梨・長野県、北陸…新潟・富山・石川・福井県、東海…岐阜・静岡・愛知・三重県、近畿は三重県を除く

(2016年)「作物統計」ほか